

二十歳の主張

二十歳を代表して感謝の思いと決意を述べました

私の将来の夢は小学校の頃から保育士になることでした。私は今、その夢を叶えるために保育学校に通っており、日々勉強に励んでいます。

この約2年間で、短大で「子どもの発達や援助の仕方」「ピアノ」など様々な専門知識を学んできました。実習では、子どもたちと関わる楽しさや保育士の役割など現場でしか学べないことを学びことができ、とてもいい経験になりました。この経験を活かして自分の理想とした保育士になれるように残りの学生生活も頑張りたいと思います。

幼い頃からの友人、高校で仲良くなった有人、教育して下さった先生方、そしていつも支えてくれた家族。みんなに出会えて本当に幸せです。これからは成人という自覚を持ち、出会った人たちのことを思いやり、支えてくれた人たちに感謝を忘れずに頑張っていきたいと思います。

私は中学校を卒業するまでの15年間を錦江町で育ちました。高校進学を機にこの町を離れ、現在は未熟ながらも社会人として日々励んでいます。

私はこの町を離れてたくさんのことに気づきました。錦江町は雄大な自然に恵まれ、そして人情味あふれる人々が集う私の自慢のふるさとです。帰省する度に「素晴らしい景色が”おかえり”と自分を迎えてくれているかのように思え、ホッとします。また、色んな方に声を掛けてもらい私は人のつながり、出会いに恵まれているのだと改めて気づきました。

私は大切にしている鹿児島弁があります。それは「いっだましいを入れる」です。この言葉は小さい頃から父から気合を入れる意味でよく言われていた言葉です。色んな壁にぶつかりくじけそうになった時に何度も救われました。これからもこの言葉を胸に精進して参ります。



坂口 萌々花さん
(田代中)

有馬 大智さん
(錦江中)



令和5年 錦江町二十歳の集い

名称を変えて初の開催となった「二十歳の集い」。
今年は平成14年度生まれが対象。
錦江町では対象者93名のうち58名が参加し大人への第一歩を踏み出しました。

2002年の主な出来事

- ▶小柴昌俊さんがノーベル物理学賞、田中耕一さんがノーベル化学賞を受賞
- ▶日韓共催のサッカーワールドカップで日本初のベスト16
- ▶多摩川にアゴヒゲアザラシの「タマちゃん」が出現
- ▶プロ野球読売ジャイアンツの松井選手がメジャーリーグへ移籍

参加対象者 93名(58名)
大根占地区 77名(48名)
田代地区 16名(10名)
※()内は参加者数

二十歳としての決意を胸に
新たな一歩を踏み出す

1月3日に錦江町文化センターで二十歳の集いが開催され、真新しいスーツや華やかな振袖に身を包み、少し緊張した様子の58名が出席しました。令和4年4月の改正民法施行により、成人年齢が18歳に引き下げられました。これまでどおり20歳の方を対象とし、「成人式」から「二十歳の集い」へ名称を変更して、初の開催。会場内は久しぶりに再会する旧友と談笑する姿や恩師から祝福を受ける様子などが多く見られ賑わいを見せました。

式典では小中学校時代のスライドショーが流れ、懐かしい写真の数々に、会場からは歓声が上がるなど和やかな雰囲気です。二十歳の主張では有馬大智さんと坂口萌々花さんが、故郷への感謝と今後の抱負や決意を壇上から力強く宣誓しました。

